

# 故障情報呼出し装置

## ■ まえがき

電力設備を保守・運用するための通信手段としては、テレコン・CDTなどの通信機器が広く活用されてきた。

しかし、故障によっては、一括故障情報として伝送されて詳細が分からないものや、監視対象になっていないものなどは、保守担当者が設置場所へ行き、確認を行っている。

本装置は、遠隔地の故障情報全てを速やかに伝送し、保守の円滑化・迅速化を図るものである。

電力会社の電気所用を対象としての納入を考えている。

## ■ 各局機能 (①～⑥下図参照)

### (1) 子局

- DC 4～20 mA のアナログ信号 8 ch 及びデジタル信号 24 ch (TTLレベル入力 12 ch, 無電圧接点入力 12 ch) を計測し、トリガ条件成立時または指定時刻に、故障情報データを情報収集装置親局に伝送する。①

### (2) 情報収集装置親局

- 子局から、故障情報データを収集する。②

### (3) 呼出し装置親局

- 情報収集装置親局とLAN接続し、最新の故障情報データを取得する。③
- PHS通報機能、あらかじめ登録されている通報先のPHSに、文字トークサービスを利用して順次通報する。④

- 音声応答機能、PHS通報機能により通報後は、PHS電話機能で保守対応を確認する。⑤
- 故障情報転送機能、個人宅等のパソコンにPHSを接続し、故障情報の確認ができる。⑥

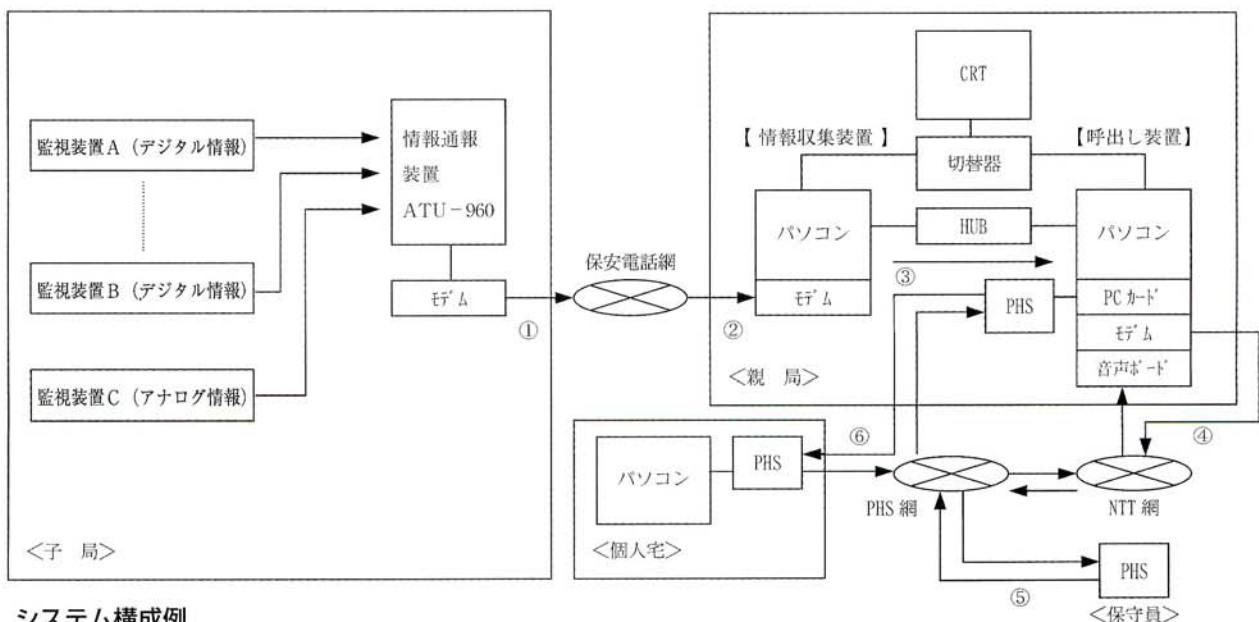
## ■ 主な仕様

### ①子局

項目	仕様
電源	AC100V
入力点数	アナログ×8ch (4～20mA) デジタル×24ch
通信ポート	RS232C×1ポート
通信回線	電話回線×1回線使用

### ②親局

項目	仕様	
	情報収集装置	呼出し装置
本体	汎用パソコン	汎用パソコン
OSソフト	Windows9X	WindowsNT
I/O	RS232C×1ポート	・音声ボード×1 ・PCスロットボード×1 ・データアダプタPCカード×1 (PIAFS対応)
表示装置	CRT 1台切替使用	
通信回線	電話回線×1ch 使用	電話回線×1ch 使用 (受信専用)



## ■ システム構成例